

資料でみる 日本映画史

「100」年三月五日火 三月二四日日

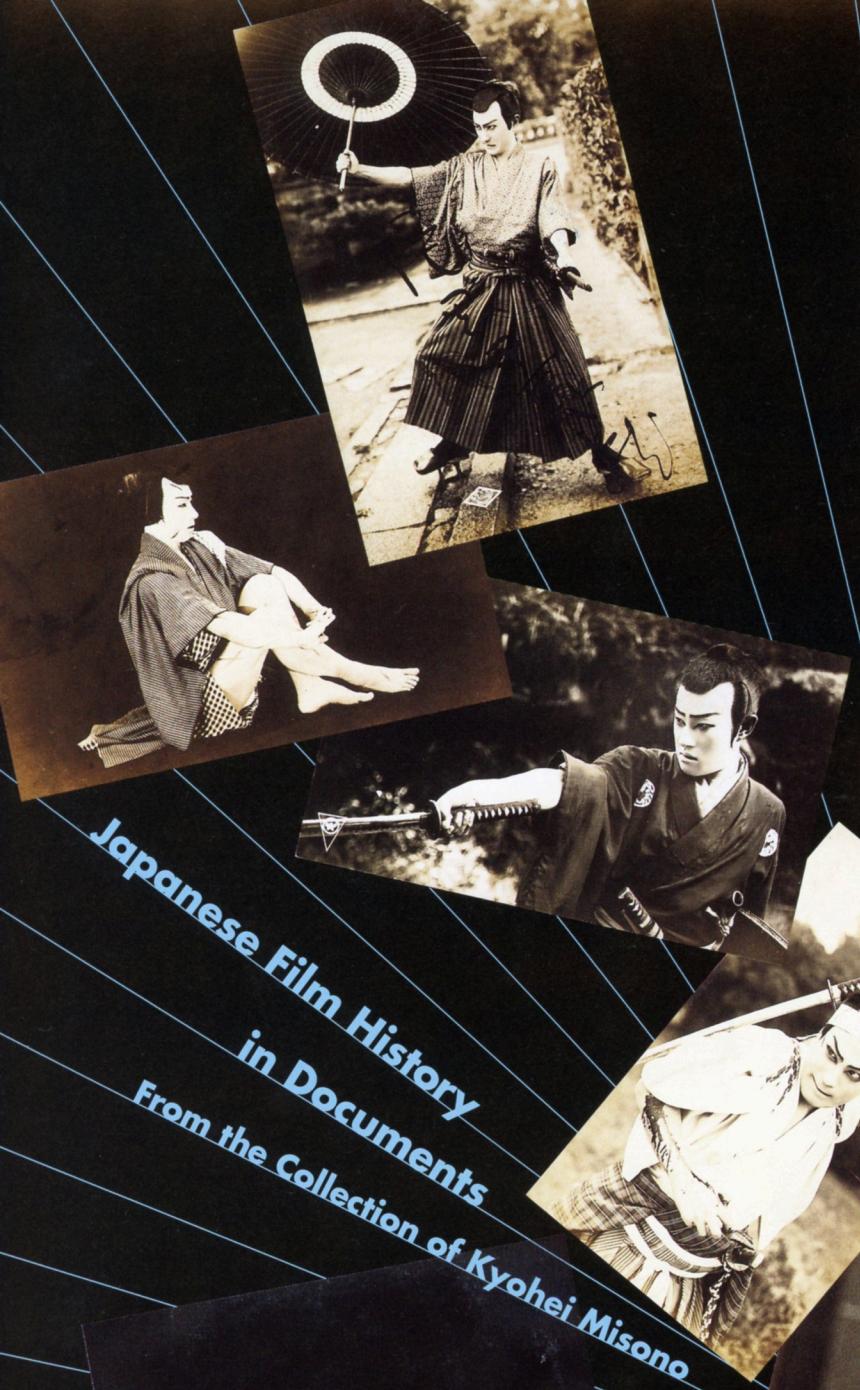
四月一日火 五月二六日日

午前10時30分~午後6時(入場は午後5時30分まで)休館日4月曜日 入場無料

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室(7階)

史料で
みる
日本映画史

Japanese Film History
in Documents
From the Collection of Kyohei Misono



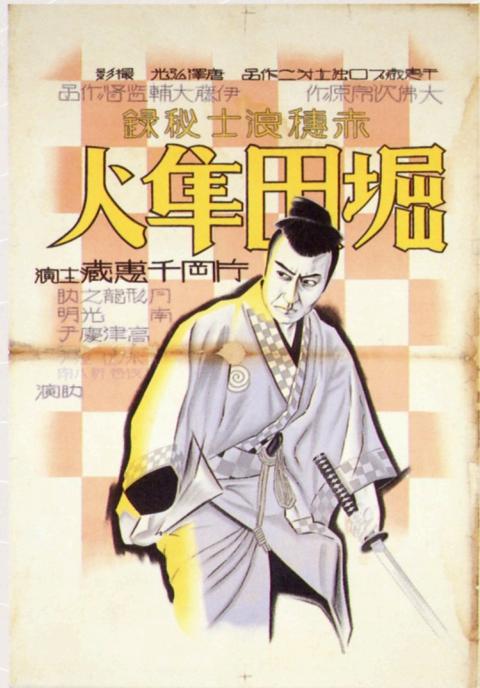


大河内傳次郎「丹下左膳」(1933年)ポスター

御園京平(本名・月村吉治)氏が生涯をかけて収集した膨大な映画資料は「みそのコレクション」の通称で知られ、とくにポスター、スチル写真、プログラム(チラシ、パンフレット)の三分野で他を圧倒する質と量を誇っています。

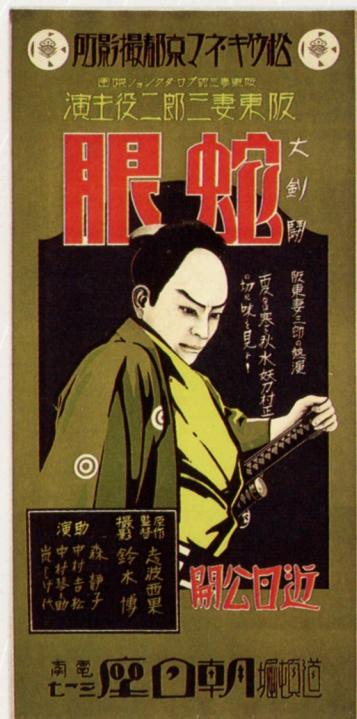
このうち、ポスター類は1995年の新館オープンを機にフィルムセンターに寄贈され、以来展示室でも2度にわたり展覧会(「ポスターでみる日本映画史」)を開催し、好評を博してきました。

本展は、惜しくも平成12年1月に逝去された御園氏の業績を偲びつつ、改めて「みそのコレクション」の全貌を浮かび上がらせようとするもので、既にお馴染みとなったポスターはもちろん、遺族から新たに寄贈されたスチル写真、プログラム等を大々的に加えての開催となります。



片岡千恵蔵「堀田隼人」(1933年)ポスター

資料でみる日本映画史 みそのコレクションより



阪東妻三郎「蛇眼」(1926年)ポスター



嵐寛寿郎「鞍馬天狗」(1928年)ポスター



市川右太衛門「淨魂」(1927年)ポスター



林長二郎(長谷川一夫)「乱軍」(1927年)ポスター

[表面]プロマイド:上から

片岡千恵蔵「仁侠二刀流」(1927年)／林長二郎(長谷川一夫)「切られ与三」(1928年)／嵐長三郎(寛寿郎)「鳴門秘帖」(1927年)／市川右太衛門「高杉晋作」(1928年)／(左)阪東妻三郎「砂繪呪縛」(1927年)／(右)大河内傳次郎「新版大岡政談」(1928年)

▼交通

當団地下鉄銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
當団地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

